

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0585
施設名	横川保育園
施設所在地	東京都八王子市横川町108
法人名	社会福祉法人共栄会

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

保育園に自分の音を広げよう！

<テーマの設定理由>

毎年、各種行事で楽器の演奏、ダンス等、音楽活動を行っており、そういった体験を重ねるうちに、スピーカーから流れる音楽に興味を持った子ども達の中から、どうやって音が出ているんだろうか？自分達の演奏をスピーカーから保育園全体に響かせることができるのか？という声が上がっていた。そのため、保育室のスピーカーから子ども達が鳴らした音が出るような環境を作り、子ども達が主体的、能動的に音楽を奏でることのできる環境を整備した。

## 2. 活動スケジュール

- ・ 楽器等を利用し、園内に音が届くことを楽しむ
- ・ 園内の好きな音をマイクを通して広がることを楽しむ
- ・ 楽器にとらわれず、様々な場所や物の音をマイクを通して広がることを楽しむ

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

マイク  
スピーカー  
音の出るキーボード  
各種楽器

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

- ・ 様々な音が出るキーボードや好きな楽器を使用して保育室に音を流し、その音の違いや強弱を自分で調整したりしながら音の響きの違いを楽しむ。
- ・ ダンス中に小さな音、大きな音でのダンスを行い、ダンスの感覚の違いを体感する。
- ・ 保育園内の様々な場所、物を叩いたりしながら、身の回りの音を保育室内に響かせ、その音の違いを探究する。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

当初は音を鳴らすことによって周囲の子ども達が反応していることをただ楽しんでいる様子が見られたが、園児の一人がマイクを近づけたり遠ざけたりすることによって音が違って聞こえることに気づき、近づけ過ぎて音が割れたりすることも楽しみながら、保育室内に自分の工夫によって音が変わる様子を楽しみ始める様子が見られた。それからは他の園児達と話し合いながら、いろいろな楽器やそれ以外のものを使って音の出し方を工夫したりしていたが、保育士の一人がマイクで床を軽く叩いて見せてからは、園児同士で何を鳴らせば綺麗な音が出そうかを相談したりしながら、プラスチックのおもちゃや木のおもちゃ等を叩いたりして、楽器やキーボードにとらわれず音の違いを様々な探究し始める様子が見られた。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

今回は初めてのすくわくプログラムの実施であり、環境構成や言葉かけ等、保育士も手探り状態での実施となった。子ども達は音を鳴らすことそのものが楽しく、子ども達が自分から探究を始めるにはまずはその楽しい状況を一通り子どもの中で楽しむ時間を十分に確保することが必要なのではないかという気づきがあった。楽しいから不思議に変化する子どもの心の動きを保育士がよく観察し、そこに合った言葉かけをしていくことで子ども達がより深い探究ができるように、今後の子ども達の探究活動の環境構成を工夫して行きたい。